

7 乳幼児健康診査前後の育児心配の変化

－ 4 ヶ月・1歳6ヵ月・3歳健康診査の比較検討－

高知市保健センター 森 下 安 子 (26回生) ○柳 本 真 紀 (37回生)

産 田 由 香 福 田 春 美

北 村 朋 子 筒 井 洋 子

高知県中央保健所 中 山 徳 (27回生) 大 井 美 紀

高知女子大学 岸 田 佐 智 (25回生) 時 長 美 希 (26回生)

1. はじめに

平成9年度から母子保健事業が市町村に移管されることをうけ¹⁾、効果的な乳幼児健康システムの確立と新たな保健婦活動の検討が必要となってきた。高知市でも核家族化や育児の孤立化、育児に関する学習機会の減少などにより、育児不安の増大、対処能力の低下といった傾向が見られており、養育者の育児力を高める育児支援活動の強化が必要となっている。そこで従来から集団方式で実施し、また受診率(平成6年度)も80%～91.5%と高い4ヵ月健康診査(以下4ヵ月)、1歳6ヵ月健康診査(以下1.6歳)、3歳児健康診査(以下3歳)の乳幼児健康診査(以下健診)を教育の機会と捉え、「育児心配」の減少を狙った健康学習を行ってきた。

本研究では、実際この健康学習の方法が意味のあるものであるか、今後、どのような援助システムを開発していけばよいのかを考える示唆を得るため、健診前と後の「育児心配」の変化を明らかにしようと考えた。本研究の目的は、各健診前および後の「育児心配」を明らかにすること、そして、その前と後ではどのように「育児心配」が変化しているのかを明らかにすることである。

2. 研究方法

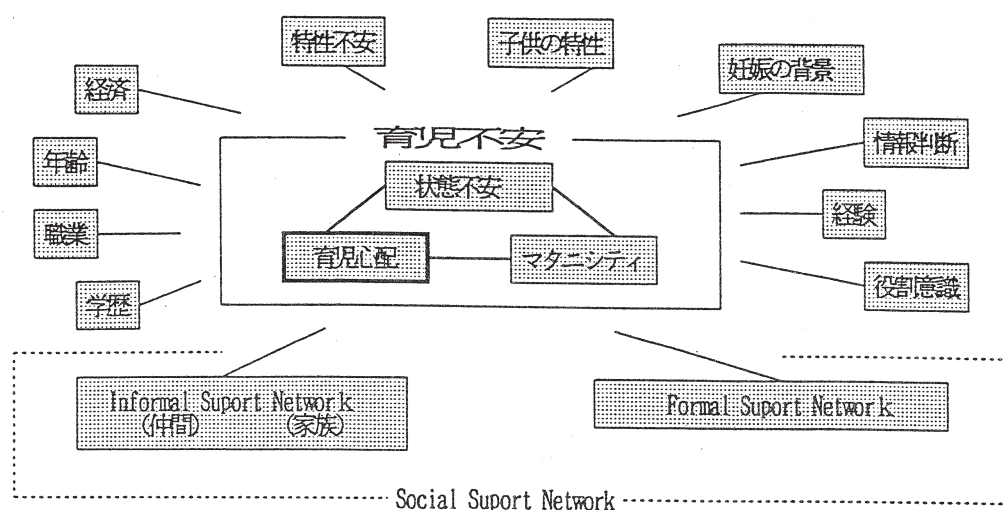
①データ収集方法：平成7年9月現在の住民基本台帳名簿から、平成7年10月5日～11月10日の間の4ヵ月健診対象者の養育者261人、1.6歳健診対象者の養育者253人、3歳健診対象者の養育者231人の合計745人を抽出した。健診前質問紙は健診前に郵送し、健診来所時に回収した。また健診後質問紙は健診終了後に配付し、その場で記載してもらい回収した。

②質問紙の開発：「育児心配」は、育児不安を構成するものと考え、育児不安に関する92文献から³⁻¹⁵⁾、まず育児不安に関する項目を抽出するとともに、過去1年間の電話相談票、健診受診票の相談内容、および家庭訪問、育児相談などで気になった母親の発言を高知市の全保健婦から集め、分析を行い、育児不安の要素と要因の関連図を作成した。

育児不安は「育児心配」「マタニティー」「漠然とした不安(状態不安)」¹⁶⁾の3要素から構成され、「年齢」「職業」「学歴」「育児経験」「児の特性」「役割意識」「サポートネットワーク」「特性不安」「経済」「妊娠の背景」「情報判断」に影響されるものとして考えた。(図1)

本研究ではこの中の「育児心配」を、養育者が児のニーズを把握しながら身体上の世話を行う際、育児に関する知識や技術不足から生じる心配であると考えた。そこで、ヘンダーソンの基本的ニーズ²⁾の14項目のなかから、日常生活上の世話に関わる〈呼吸〉〈栄養〉〈排泄〉〈活動〉〈睡眠〉〈衣服〉〈体温〉〈清潔〉

図1 育児不安の要素と要因の関連図



〈安全〉〈伝達〉のニーズの各々を〔生活〕のカテゴリーに属する10サブカテゴリーとし、〈学習〉に関するニーズを1サブカテゴリーで〔学習〕カテゴリーとし、さらに児の〈健康〉に関するニーズを1サブカテゴリーで〔健康〕カテゴリーとして新たに設定した。そして〔生活〕19項目、〔学習〕7項目、〔健康〕13項目、合計39項目からなる5段階評価の質問紙を作成した。質問内容は各発達段階に応じて「授乳量」を「食事量」に変えるなどの操作を行い、各健診の項目数は同数とし、最低39点～最高 195点の範囲で表される。（表1）

表1 育児心配の枠組み

カテゴリー	サブカテゴリー	項目	カテゴリー	サブカテゴリー	項目
生活	呼吸	1. 呼吸	学習	学習	20. 食事のしつけ 21. 排泄のしつけ 22. 抱き癖叱り方 23. 遊びのしつけ 24. 能力のばし 25. 友達遊び関係 26. 保育等就園
	栄養	2. 授乳や食事量 3. 食事回数 4. 吐乳や偏食 5. 食事内容			
	排泄	6. 尿・便			
	活動	7. 頸定・歩行 8. くせ・動作 9. 泣き 10. 機嫌			
	睡眠	11. 睡眠 12. 夜泣き			
	衣服	13. 衣服や布団			
	体温	14. 体温			
	清潔	15. 身体清潔 16. 歯の清潔	健康	健康	27. 発熱 28. 感染症 29. 体質 30. 目 31. 耳 32. 鼻 33. 頭の形 34. 姿勢 35. 手足の形 36. 性器 37. 身長 38. 体重 39. 予防接種
	安全	17. 外出 18. 事故			
	伝達	19. 反応や言葉			

③分析：統計学パッケージHALBAUを用いて項目毎の単純集計と、各健診の前後、及び各健診毎のデータについて t 検定、F 検定を行った。

3. 結 果

データの分析は、健診前と後の質問紙が両方とも回収されたものを対象とし、4 ヶ月は 196人(75.1%)、1.6 歳 200人(79.1%)、3 歳 150人(64.9%) で、745人中 546人(73.3%) の回答を得た。

① 対象者の背景

- 1) 養育者の特性：年齢は4 ヶ月29.337歳、1.6歳30.307歳、3歳31.218歳であった(表2参照)。また就業状況は、「主婦」が4 ヶ月66.3%、1.6歳61.0%、3歳では50.3%であった(図2参照)。
- 2) 児の特性：出生順位については、第1子の割合は、4 ヶ月52.9%、1.6歳54.8%、3歳54.5%で大きな差はなかった(表3参照)。

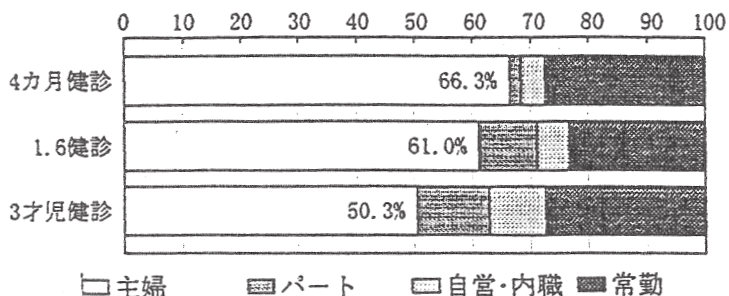
表2 健診別養育者平均年齢

健診名	平均年齢
4 ヶ月	29.337
1 歳6 ヶ月	30.307
3 歳	31.218
全体	30.203

表3 健診別出生順位

健診名	第1子(%)	第2子以降(%)
4 ヶ月	52.9	47.1
1 歳6 ヶ月	54.8	45.2
3 歳	54.5	45.5
全体	54.0	46.0

図2 就業状況



② 健診前の「育児心配」

健診前の「育児心配」39項目の合計平均点は、4 ヶ月88.817点、1.6歳86.984点、3歳84.194点の順であり各健診間での有意差は無かった。カテゴリ別に見ると、[生活]の合計平均点は4 ヶ月42.577点、1.6歳40.679点、3歳39.490点($P<0.05$)、[学習]の合計は1.6歳19.442点、3歳18.

913点、4 ヶ月16.490点($P<0.01$)、[健康]の合計は4 ヶ月29.799点、1.6歳26.711点、3歳25.710点、($P<0.01$)であり、それぞれ有意差が見られた。(図3参照)

「育児心配」の内容をサブカテゴリの平均点別にみると、4 ヶ月では〈安全〉2.786点、〈栄養〉2.437点、

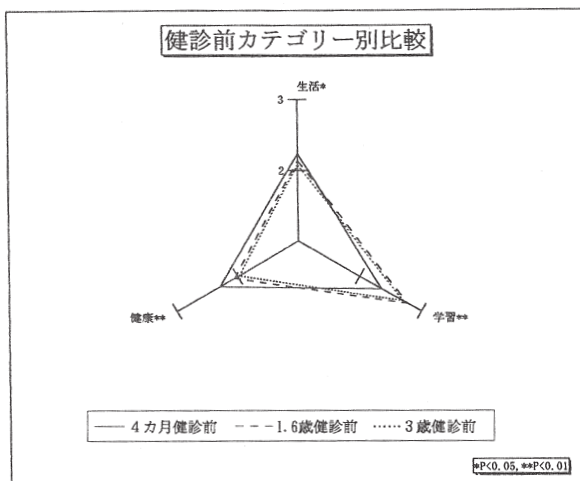


図3 健診前カテゴリ別比較

〈排泄〉 2.415点の順に高く、この時期は身体面や発育発達面での心配が高いことが明らかになった。また、1.6歳では、〈学習〉 2.777点、〈安全〉 2.515 点、〈栄養〉 2.423 点、3歳でも〈学習〉 2.702点、〈安全〉 2.579点、〈栄養〉 2.384点と〈学習〉に関する心配が高かった。（表4、図4参照）

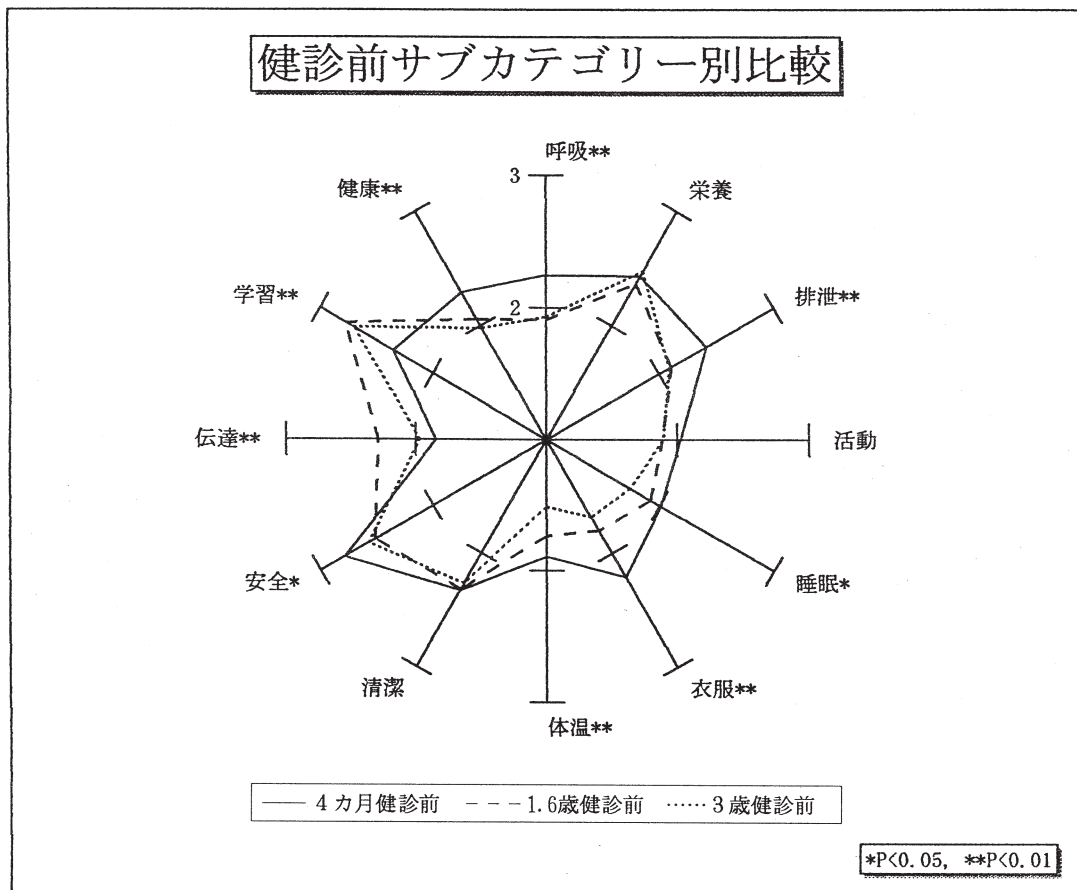


図4 健診前サブカテゴリー別比較

表4 育児心配（健診前）

大項目	サブカテゴリー	カテゴリー	4ヵ月健診	1.6歳健診	3歳健診	有意差
生活	呼吸	1. 呼吸	2.253	1.91	1.932	**
	栄養	2. 授乳や食事量	2.718	2.457	2.463	*
		3. 食事回数	2.281	2.212	2.088	
		4. 吐乳や偏食	1.929	2.643	2.503	**
		5. 食事内容	2.836	2.372	2.479	**
	栄養合計平均点		2.437	2.423	2.384	
	排泄	6. 尿・便	2.415	2.106	2.088	**
	活動	7. 頸定・歩行	1.964	1.824	1.626	**
		8. くせ・動作	2.077	2.06	2.048	
		9. 泣き	2.077	1.789	1.898	*
		10. 機嫌	2.005	1.884	1.979	
	活動合計平均点		2.028	1.890	1.892	
	睡眠	11. 睡眠	2.122	2.02	2.095	
		12. 夜泣き	1.898	1.819	1.377	**
	睡眠合計平均点		2.010	1.920	1.737	*
	衣服	13. 衣服や布団	2.209	1.799	1.68	**
	体温	14. 体温	1.893	1.734	1.51	**
	清潔	15. 身体清潔	2.168	1.698	1.633	**
		16. 歯の清潔	2.487	2.94	2.905	**
	清潔合計平均点		2.328	2.319	2.269	
	安全	17. 外出	2.367	1.934	1.938	**
		18. 事故	3.304	3.096	3.219	
	安全合計平均点		2.786	2.515	2.579	*
	伝達	19. ことば	1.846	2.291	1.973	**
	生活合計平均点		2.241	2.141	2.078	*
学習	学習	20. 食事のしつけ	2.144	2.965	3.033	**
		21. 排泄のしつけ	1.846	3.025	2.313	**
		22. 抱き癖叱り方	2.113	3.025	2.993	**
		23. 遊びのしつけ	2.397	2.480	2.533	
		24. 能力伸ばし	2.790	2.788	2.873	
		25. 友・遊び関係	2.528	2.657	2.693	
		26. 保育等就園	2.713	2.475	2.473	
	学習合計平均点		2.356	2.777	2.702	**
健康	健康	27. 発熱	2.328	2.288	2.053	
		28. 感染症	2.508	2.427	2.221	
		29. 体質	3.148	2.513	2.604	**
		30. 目	2.255	1.990	1.920	**
		31. 耳	2.189	2.020	1.973	
		32. 鼻	2.541	2.182	2.187	**
		33. 頭の形	2.658	1.915	1.627	**
		34. 姿勢	2.102	1.749	1.760	**
		35. 手足の形	1.759	1.613	1.620	
		36. 性器	1.831	1.638	1.753	
		37. 身長	1.749	1.879	1.813	
		38. 体重	2.097	2.095	1.887	
		39. 予防接種	2.626	2.447	2.389	
	健康合計平均点		2.292	2.055	1.978	**
	育児心配総合平均点		2.277	2.230	2.159	
	育児心配総合計		88.817	86.984	84.194	

* P < 0.05 ** P < 0.01

項目別には、4ヵ月では“事故”3.204点、“体質”3.148点、“離乳食”2.836点が高く、1.6歳では“事故”3.096点、“排泄のしつけ”3.025点と“叱り方”3.025点、3歳では“事故”3.219点、“食事のしつけ”3.033点、“叱り方”2.993点が高かった。（表5参照）

表5 健診前育児心配（項目別順位）

	4ヵ月健診		1.6歳健診		3歳健診	
1	事故（安全）	3.204	事故（安全）	3.096	事故（安全）	3.219
2	体質等（健康）	3.148	叱り方（学習）	3.025	食事の仕方（学習）	3.033
3	離乳食（栄養）	2.836	おむつの外し方（学習）	3.025	叱り方（学習）	2.993
4	能力（学習）	2.790	食事の仕方（学習）	2.965	歯の清潔（清潔）	2.905
5	授乳量（栄養）	2.718	歯の清潔（清潔）	2.940	能力（学習）	2.873
6	保育園（学習）	2.713	能力（学習）	2.788	友達（学習）	2.693
7	頭の形（健康）	2.658	友達（学習）	2.657	体質等（健康）	2.604
8	予防接種（健康）	2.626	偏食（栄養）	2.643	遊ばせ方（学習）	2.533
9	鼻（健康）	2.541	体質等（健康）	2.513	偏食（栄養）	2.503
10	友達（学習）	2.528	遊ばせ方（学習）	2.480	食事内容（栄養）	2.479
11	感染症（健康）	2.508	保育園（学習）	2.475	保育園（学習）	2.473
12	歯の清潔（清潔）	2.487	食事量（栄養）	2.457	食事量（栄養）	2.463
13	尿・便（排泄）	2.415	予防接種（健康）	2.447	予防接種（健康）	2.389
14	遊ばせ方（学習）	2.397	感染症（健康）	2.427	排泄のしつけ（学習）	2.313
15	外出時（安全）	2.367	幼児食（栄養）	2.372	感染症（健康）	2.221
16	発熱（健康）	2.328	ことば（伝達）	2.291	鼻（健康）	2.187
17	授乳時間（栄養）	2.281	発熱（健康）	2.288	睡眠（睡眠）	2.095
18	目（健康）	2.255	食事回数（栄養）	2.212	尿・便（排泄）	2.088
19	呼吸（呼吸）	2.253	鼻（健康）	2.182	食事回数（栄養）	2.088
20	衣服（衣服）	2.209	尿・便（排泄）	2.106	発熱（健康）	2.053
21	耳（健康）	2.189	体重（健康）	2.095	くせ・動作（活動）	2.048
22	身体清潔（清潔）	2.168	くせ・動作（活動）	2.060	遊び方（活動）	1.979
23	スプーン慣れ（学習）	2.144	睡眠（睡眠）	2.020	耳（健康）	1.973
24	睡眠（睡眠）	2.122	耳（健康）	2.020	ことば（伝達）	1.973
25	抱き癖（学習）	2.113	目（健康）	1.990	外出時（安全）	1.938
26	姿勢（健康）	2.102	外出時（安全）	1.934	呼吸（呼吸）	1.932
27	体重（健康）	2.097	頭の形（健康）	1.915	目（健康）	1.920
28	泣き（活動）	2.077	呼吸（呼吸）	1.910	泣き（活動）	1.898
29	くせ・動作（活動）	2.077	遊び方（活動）	1.884	体重（健康）	1.887
30	機嫌（活動）	2.005	身長（健康）	1.879	身長（健康）	1.813
31	首すわり（活動）	1.964	歩き方（活動）	1.824	姿勢（健康）	1.760
32	乳吐き（栄養）	1.929	夜泣き（睡眠）	1.819	性器（健康）	1.753
33	夜泣き（睡眠）	1.898	衣服（衣服）	1.799	衣服（衣服）	1.680
34	体温（体温）	1.893	泣き（活動）	1.789	身体清潔（清潔）	1.633
35	おむつ交換（学習）	1.846	姿勢（健康）	1.749	頭の形（健康）	1.627
36	反応（伝達）	1.846	体温（体温）	1.734	歩き方（活動）	1.626
37	性器（健康）	1.831	身体清潔（清潔）	1.698	手足の形（健康）	1.620
38	手足の形（健康）	1.759	性器（健康）	1.638	体温（体温）	1.510
39	身長（健康）	1.749	手足の形（健康）	1.613	夜泣き（睡眠）	1.377

③ 健診後の「育児心配」

39項目の合計平均点は、4ヵ月83.592点、1.6歳83.067点、3歳80.303点の順であり、各健診間での有意差は見られなかった。カテゴリー別では、〔生活〕の合計平均点は4ヵ月39.759点、1.6歳39.411点、3歳38.168点であり、それぞれ健診前と比べて点数は下がっていたが、健診後の点数は各健診の間には健診前と異なり有意差は無かった。しかし〔学習〕は1.6歳18.249点、3歳17.601点、4ヵ月16.099点の順で($P<0.01$)、〔健康〕は4ヵ月27.713点、1.6歳25.337点、3歳25.028点の順で($P<0.01$)有意差が見られ、健診前と同様であった。

(図5参照)

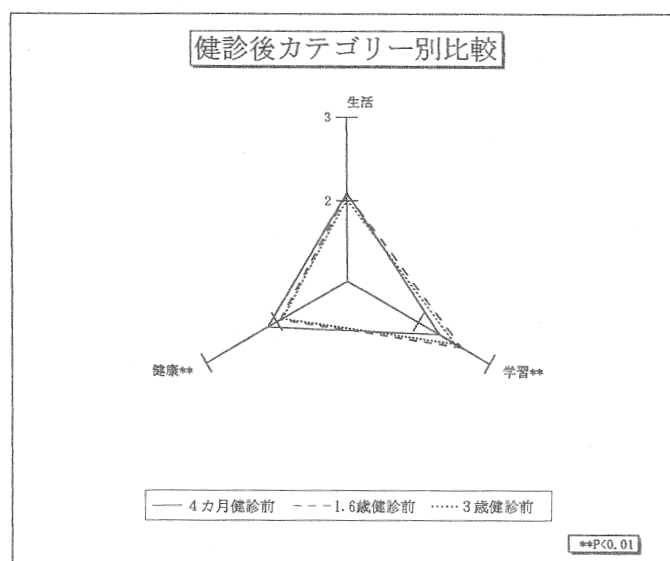


図5 健診後カテゴリー別比較

サブカテゴリー別にみると、4ヵ月では〈安全〉2.575点、〈学習〉2.300点、〈清潔〉2.289点の順になっており、健診前とは点数が下がっただけでなく、内容に変化が見られた。1.6歳では、〈学習〉2.607点、〈安全〉2.414点、〈栄養〉2.348点、3歳では、〈学習〉2.514点、〈栄養〉2.406点、〈安全〉2.355点の順に高く、健診前より点数は下がったものの、内容は同一であった。(表6、図6参照)

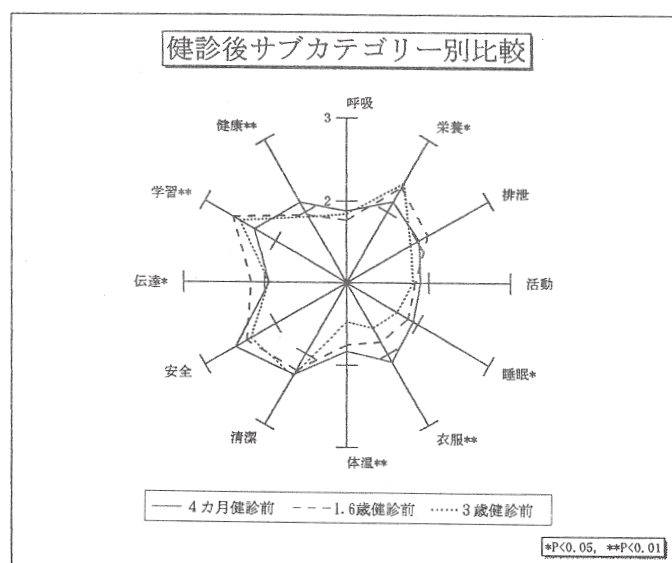


図6 健診後サブカテゴリー別比較

表6 育児心配（健診後）

大項目	サブカテゴリー	カテゴリー	4ヵ月健診	1.6歳健診	3歳健診	有意差
生活	呼吸	1. 呼吸	1.882	1.765	1.844	
	栄養	2. 授乳や食事量	2.232	2.295	2.377	
		3. 食事回数	2.103	2.285	2.365	*
		4. 吐乳や偏食	1.747	2.452	2.446	**
		5. 食事内容	2.505	2.375	2.462	
	栄養合計平均点		2.145	2.348	2.406	*
	排泄	6. 尿・便	2.026	2.145	1.905	
	活動	7. 頸定・歩行	1.862	1.750	1.635	*
		8. くせ・動作	1.913	1.965	2.000	
		9. 泣き	1.913	1.755	1.714	
		10. 機嫌	1.913	1.885	1.884	
	活動合計平均点		1.900	1.839	1.810	
	睡眠	11. 睡眠	2.046	1.990	2.041	
		12. 夜泣き	1.826	1.740	1.377	**
	睡眠合計平均点		1.936	1.865	1.709	
	衣服	13. 衣服や布団	2.108	1.829	1.635	**
	体温	14. 体温	1.831	1.750	1.473	**
	清潔	15. 身体清潔	2.062	1.790	1.750	**
		16. 歯の清潔	2.510	2.675	2.891	**
	清潔合計平均点		2.289	2.233	2.313	**
	安全	17. 外出	2.268	1.975	1.864	**
		18. 事故	2.882	2.859	2.870	
	安全合計平均点		2.575	2.414	2.355	
	伝達	19. ことば	1.949	2.170	1.952	*
	生活合計平均点		2.093	2.074	2.009	
学習	学習	20. 食事のしつけ	2.273	2.180	1.932	**
		21. 排泄のしつけ	2.490	2.335	2.178	**
		22. 抱き癖叱り方	2.907	2.380	2.514	**
		23. 遊びのしつけ	2.073	1.860	1.897	
		24. 能力伸ばし	2.072	1.930	2.034	
		25. 友・遊び関係	2.206	2.040	2.041	
		26. 保育等就園	2.227	1.749	1.593	**
	学習合計平均点		2.300	2.607	2.514	**
健康	健康	27. 発熱	2.057	1.740	1.815	**
		28. 感染症	1.789	1.590	1.669	*
		29. 体質	1.686	1.545	1.740	**
		30. 目	1.706	1.875	1.712	
		31. 耳	1.927	1.955	1.829	
		32. 鼻	2.268	2.230	2.137	
		33. 頭の形	2.263	2.635	2.719	**
		34. 姿勢	1.825	2.745	2.226	**
		35. 手足の形	1.954	2.765	2.772	*
		36. 性器	2.259	2.495	2.377	*
		37. 身長	2.585	2.714	2.646	
		38. 体重	2.497	2.535	2.514	
		39. 予防接種	2.670	2.374	2.329	
	健康合計平均点		2.132	1.952	1.925	**
	育児心配総合平均点		2.143	2.130	2.059	
	育児心配総合計		83.592	83.067	80.303	

* P < 0.05 ** P < 0.01

項目別では、4ヵ月では“抱き癖”2.907点、“事故”2.882点、“身長”2.585点、1.6歳では“事故”2.859点、“手足の形”2.765点、“姿勢”2.745点、3歳では“歯の清潔”2.891点、“事故”2.870点、“手足の形”2.772点の「育児心配」が上位3位までを占めていた。

④ 健診前後における「育児心配」の変化

各健診の総合計の差は、4ヵ月-5.953点、1.6歳-3.626点、3歳-2.528点で、前後の変化についての有意差は4ヵ月、1.6歳では見られたが、3歳では無かった。カテゴリー別で見ると、4ヵ月では「健康」-2.290点「生活」-3.221点、1.6歳では「学習」-1.201点「健康」-1.413点、3歳では「学習」-1.203点に有意($P<0.01$)な減少が見られた。(図7参照)

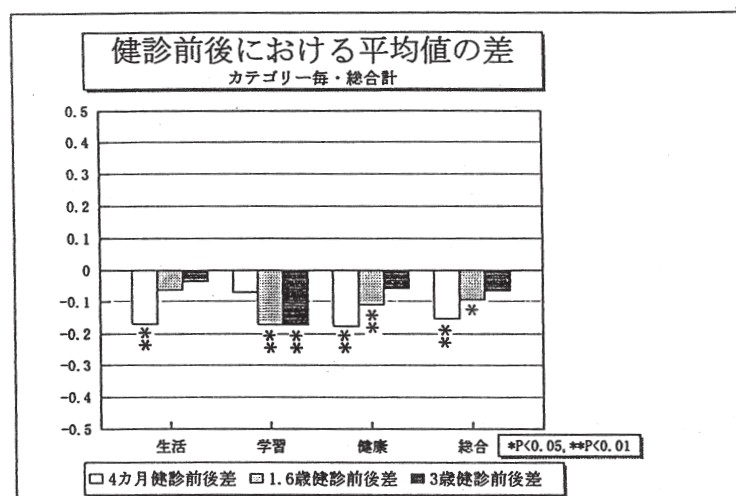


図7 健診前後における平均値の差

サブカテゴリー別には、4ヵ月の〈排泄〉〈呼吸〉〈栄養〉〈安全〉〈活動〉〈健康〉、1.6歳の〈学習〉〈健康〉と、3歳の〈安全〉〈学習〉に $P<0.01$ で、1.6歳の〈呼吸〉と3歳の〈排泄〉では $P<0.05$ で有意な減少が見られた。

また、4ヵ月の〈伝達〉、1.6歳の〈排泄〉〈衣服〉〈体温〉、3歳の〈栄養〉〈清潔〉で「育児心配」が健診後に増加していたが、いずれも有意差はなかった。(図8参照)

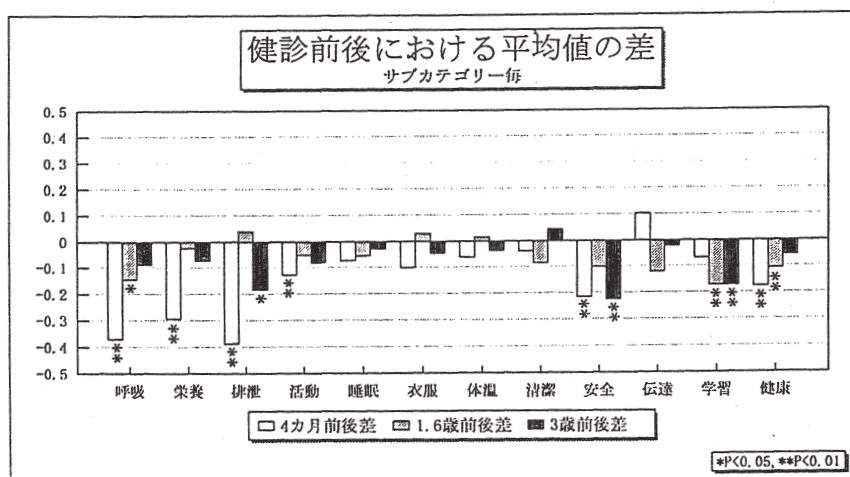


図8 健診前後における平均値の差

4. 考 案

① 健診前に「育児心配」が高かったもの

4ヵ月の養育者の「育児心配」で最も高かったのは、「生活」と「健康」に関するカテゴリーであった。この頃は児の日常生活上の世話をするために最も必要とされる児のニードや健康状態を把握することに養育者が苦慮している時期と考えられる。第1子の割合は各健診ともほぼ同じであるため、たとえ対象児が第1子でなくとも、対象児の個人差と言語的コミュニケーション能力が未発達なために、育児経験者でも多少なりとも心配してしまう時期と考えて良いのではないだろうか。

このことから4ヵ月健診の場面では、育児経験に関わらず、児の世話をしている心配なことはないかを看護師は確認する必要があるのではないかと考える。

また項目別に見ると、4ヵ月では「生活」、「健康」のなかの、「体質」や「離乳食」についての心配が高かったが、これは現在アトピー性皮膚炎に対する養育者の不安が高いことや、離乳食開始直前であることなどが影響しているものと考ええる。

1.6歳や3歳では「学習」が高く、ことにしつけや叱り方についての心配が高い。この事は、児の身体上の世話には慣れてきたものの、自我が芽生え個人差が大きくなった児に対して、いかにしつけをするかで養育者が育児経験に関わらず悩む時期であると考えられる。

さらに項目別に見ると、1.6歳の「学習」の心配で最も高いのは「排泄のしつけ」であるのに対し、3歳のそれは「食事のしつけ」であることから、1.6歳がトイレトレーニングの開始時期にあたること、3歳が保育所入所などの1つの節目的な時期であり、生活面の自立が課題となる時期である事が影響していると考ええる。

これらのことから養育者の「育児心配」は各年齢における児の発達課題や、その時に注目されている育児情報と密接な関係があり、看護師はその事を踏まえた関わりを行う必要がある。

また、いずれの年齢においても「事故」についての心配が最も高かったことから、児の活動性の大小に関わらず、養育者は不慮の事故に対しての心配を認識しているという点で乳幼児の死亡原因の多くを占めるこのことからについて看護師も養育者に正しい認識をもってもらうことや、個々の幼児の発達や生活に応じた事故防止・安全教育を具体的に進めていくなど積極的なアプローチが必要であることを示していると考ええる。さらに、児が生活している家庭・保育所・幼稚園等との連携体制を深めるなどの関わりも大切になってくるだろう。

② 健診前に「育児心配」の低かったもの

一方、「育児心配」の低かったものとしては、「健康」の中でも「性器」「手足の形」であった。この事は新生児期に心配すべき先天性奇形の有無がほぼ明らかになる事柄であるためと考える。同様に4ヵ月ではまだはっきり分らない「姿勢」や「頭の形」についても1.6歳、3歳になると心配が解消されている。

また、「生活」の〈衣服〉等のサブカテゴリーが1.6歳、3歳で4ヵ月より有意に心配が低いのは、児の言語力が発達し、自分でその欲求を表現できるようになるため、ニードの把握がしやすくなることも関係していると考えられる。

③ 健診前後で「育児心配」が有意に減少したもの

養育者の「育児心配」は健診後多くの項目で減少していた。それは特に健診前に「育児心配」が高かったサブカテゴリーについて有意な減少として見られた。

4ヵ月では健診前「育児心配」の高かった〈排泄〉〈栄養〉〈安全〉について有意差が生じた。これは、4ヵ月健診では養育者が問診票に記入してきた心配事について保健婦が問診場面で一人一人相談対応するようにしていることや、集団指導のなかで離乳食の始め方についてアトピー性皮膚炎のことも加味しながら栄養士による指導とパンフレット配付が行われていることが影響していると考えられる。

1.6歳では〈学習〉〈健康〉のサブカテゴリーで有意に減少している。1.6歳健診では集団指導の時間に1歳6ヵ月児の正常な発達段階について話している。つまり、この頃は自我の芽生えの時期であること、それを大切にすることがこの時期の関わり方のポイントであり、しつけを重視すべき時期ではないこと、トイレトレーニングの具体的な方法と、その完了時期が神経学的な発達から考えてもまだ先でよいことなどを説明している。またその際、意図的に同月齢の受診児を同じ場で遊ばせ、その姿を見せるようにしていることで、就園率もまだ17%と低く、他の児に接する機会が少ない養育者も他の児を見ることができ、この時期の正常な発達の姿を目の当たりにして納得する所も大きいのではないかとと思われる。

3歳では〈安全〉〈学習〉のサブカテゴリーについて有意差が生じた。3歳児健診では集団指導時にパンフレット等を活用しながら事故防止や安全教育を指導事項に導入している。健診前の養育者の「育児心配」項目別得点のなかで、もっとも高かったのが3歳の「事故」に関する心配であったことから、3歳児の養育者の安全教育に対するニーズが高いため、効果も大きいものと思われる。

また、〈学習〉については、問診表上に日常生活習慣で養育者が気になる項目をチェックできる欄が設けられており、問診時、個別的な対応指導を保健婦が行っている。また健診の流れのなかで、多職種に個別に関わってもらうことで、「しつけ」を多面的かつ具体的に知ることができたり、自分の育児の確認ができる場となっているところが、この変化につながったと考える。

④ 健診前後で「育児心配」に変化のないもの

健診前に「育児心配」が高かったサブカテゴリーのなかで、1.6歳の〈安全〉と3歳の〈栄養〉については「育児心配」の減少が見られなかった。このことについては今後健診場面における指導を考える上で、配慮していく必要があると考える。

その他、健診前後で有意な差の生じなかったものは、4ヵ月の〈伝達〉〈睡眠〉〈体温〉、1.6歳の〈活動〉〈衣服〉〈体温〉、3歳の〈睡眠〉〈衣服〉〈体温〉であった。

これは、健診前からあまり「育児心配」が高くなかったサブカテゴリーであったため変化が生じなかったのではないかと考える。

5. 終わりに

健診前、養育者は児の発達課題に則した項目において「育児心配」を感じていた。なかでも「育児心配」の高かった項目については、その多くが健診後には減少を示しており、健診の場において我々が「育児心配」の減少を狙って、発達段階に応じて行ってきた健康教育や、スタッフの関わりが、意味のあるものであったことを示しているのではないかとと思われる。しかしながら、こうした心配が変化する要因はわれわれの関わりのみではなく、健診の場において同じような立場にいる養育者と接することでも減少することなども考えられるため、今後、「育児心配」の変化に関係する要因を明らかにしていく必要がある。

参 考 文 献

- 1) 笹井泰典、他. 保健所の今後の母子保健活動のあり方に関する研究. 平成6年度厚生省心身障害研究 市町村における母子保健活動の効率的実施に関する研究班. 1995
- 2) Henderson, V., BASIC PRINCIPLES OF NURSING CARE, International Council of Nurses, 1969, 湯槇ます, 児玉香津子訳. 看護の基本となるもの 改訂版. 日本看護協会出版会1973.
- 3) 川井尚, 他. 育児不安に関する基礎的検討. 日本総合愛育研究所紀要 第30集. 1994.
- 4) 岡本喜代子, 他. 新生児訪問指導に関する調査. Perinatal Care. Vol. 10 No. 7
- 5) 高野陽. 小児保健の立場から. Perinatal Care. Vol. 10 No. 7
- 6) 森ウメ子. 幼児期の子育てにかかわる母親の意識と子どもの健康状態との関連について、看護技術. Vol. 41 No. 7 1995
- 7) 石垣和子, 他. 手紙による母親の育児相談にみられる相談ニーズの傾向と保健婦等の相談担当者による保健指導のあり方について、小児保健研究. 第53巻. 1994.
- 8) 細川えみ子, 他. マーケティング・リサーチ手法を用いた母子保健サービス利用者の意識調査. 小児保健研究. 第53巻. 1994.
- 9) 金野マサ子. 乳幼児をもつ母親の育児上の困りごと 愛媛県における実態調査(第1報). 第24回小児看護. 1993.
- 10) 田辺恵子. 乳幼児をもつ母親の育児に関する意識調査. 母性衛生. 第34巻. 1993.
- 11) 田辺恵子. 乳幼児をもつ母親の育児態度と社会的要因との関連. 小児保健研究. 第53巻. 1994
- 12) 千葉良. 健康診査と育児支援. 小児看護. 第17巻. 1994.
- 13) 大崎富士代, 他. 出産・育児に関わる母子看護援助システムに関する検討. CNAS Hyogo Bulletin Vol. 2. 1995.
- 14) 鈴木悟, 他. 乳幼児健診の診かた. 周産期医学. Vol. 20. 臨時増刊号. 1990.
- 15) 中川美子. 母親の育児不安について -幼児の母親を対象として-. 保健の科学. 第32巻. 第8号. 1990.
- 16) 島田三恵子, 他. 育児中の母親の不安に関する研究 -STAI得点と属性等との関連- 母性衛生. 第31巻. 2号. 1990.